

国際開発研究者協会（SRID）へ入会のお誘い

SRID（Society of Researchers for International Development）は国際開発問題に携わる実務者や研究者が相互に連携して親睦を図り、開発研究者として創造力あふれる活動をするために、励まし、協力し、啓発しあうことを目的として、故大来佐武郎氏を中心に 1974 年に設立されました。

主な活動は電子版 SRID ジャーナルの発行、キャリア開発事業の実施、懇談会やフォーラムの開催、ニューズレターの発行、会員間の勉強会やサロンの開催などです。現時点での会員は JICA 等の日本の国際協力機関、その他の政府機関、国連システムの諸機関、世銀グループを含む国際開発金融機関、大学等の研究機関、NPO 等の民間団体、及び民間コンサルティング企業の職員、退職者、学生など約 80 名です。

地球温暖化、大規模災害、感染症、経済格差の拡大、国際紛争など、日本や開発途上国を含め、国際社会が直面する環境は非常に厳しく、複雑になっています。一方、国際社会ではこれらの課題を転機として捉え、IT 技術の活用による変革(DX)、人口知能(AI)、クリーン・エネルギーへの転換による脱炭素化社会の実現(GX)など、新技術の開発が益々盛んになっています。

SRID はその活動を通じて国際開発の様々な課題を研究し、議論し、意見を広く発信してきました。例えば、SRID ジャーナルの配信先は 650 を超えます。有識者を講師とするオンライン懇談会は、日本各地と海外からの参加者も加わり、毎回定員の 100 名を超える参加申し込みがあります。国際開発協力に従事する人材を育成するキャリア開発事業の 2016～2024 年度の累積受講者数は 1,657 名に上ります。

SRID の最も大切な資産は、様々な分野で国際開発協力に携わる経験豊富な会員の知見とネットワークです。SRID では国際開発の課題を共に研究し、議論し、世界と日本の抱える課題の解決に貢献したいと願う会員を広く募集しています。2025 年度は Zoom の活用などによる経費削減を考慮し、年会費を 3,000 円に減額しました。学生会員は院生 2,000 円、学部生は 1,000 円です。この機会に是非 SRID への入会をご検討ください。